

146 9820

146

部
記
録

自昭和二十年三月一日
至昭和二十年四月一日

第二水雷戰隊戰時日誌

第二水雷戰隊司令部

(146)

○ 二水戰機密特第三九號 6/21

- 一 經過
- 二 人員現狀
- 三 令違報告等
- 四 參考
- 五 作戰經過概要

(終)

自昭和三十年三月一日
至昭和三十年四月五日
第二水雷戰隊戰時日誌

一 經過

い 敵情

三月一日南西諸島ニ來襲セル敵機動部隊ハ其ノ後カリス山ニ
取投シアリタルガ十四日頃再ビ行動ヲ起シ十八日十九日四國九州中國
方面ニ來襲我及撃撃ニ依リ相當損害ヲ蒙リ時我航空攻
撃圏外ニ避退兵力整頓後三月來南西諸島ニ來襲ニ窮
沖繩島砲撃ヲ開始セリ

右機動部隊掩護下ニ北上セル敵攻略部隊ハ三月五日慶良間
諸島ニ上陸該地據點ヲ確保シテ四月一日遂ニ沖繩本島ニ上陸
ヲ開始數日ナラスニ北中_下西飛行場ヲ占據セリ爾後護衛空母
並ニ戰艦群直接協力陸上戦闘急進進展ヲ期セルニ漸増

(白)友軍ノ情况

不我及撃ト之ニ策應スルニ海西特攻及撃ニ會シ戰勢漸ク膠着ノ徴アリ沖繩周辺艦船群被害亦尠カラズ乃ケ敵ハ我航空戦力ノ甚破制壓ト補給強行ヲ最要義トシ英國機動部隊(空母四乃至五ヲ基幹トス)ヲ加ヘ就役空母ヲ殆ド全部ヲ本海域ニ注入シアルモ相踵ク我南水作戦連ニ被害ヲ累加シ四月六日現在敵残存空母ニ群六隻程度ナリ遂ニ戦路爆撃隊タルB-29ヲ勤員シテ我九州南部所在航空基地ヲ攻撃ヲ企圖スルニ至リ四月六日頃ヨリ敵ハ沖繩島飛行場ヲ使用ヲ開始セルヲモ未ダ規模ナク沖繩島方面上陸敵兵力六個師内外ニシテ四月十九日以降總攻再ヲ開始ス

琉黄島作戦ニ決シテ敵攻路指向南西諸島ニ在リト判断ニ聯合艦隊ハ三月十日天二機ヲ以テ之ヲ對テ三月十五日天二機ヲ

作戦警戒同ニ三月六日天二機ヲ戰警動聯合艦隊麾下航空兵力ノ全力及陸軍第六航空軍ヲ沖繩周辺ニ投入ス

内海西部ニ在リテ警戒待機中、YBハ右ニ策應出撃ニ決シ三月八日

吳ヲ出撃セシモ進軍中止ナリ爾後周防難ニ警戒待機中四月八日

沖繩島陸上總攻及進軍ニ決シYB(大和矢矧)ハ同日黎明沖繩

島北飛行場沖ニ突入ス、一日豊後水道出撃セルニ七日午後九州

南西海面ニ於テ敵艦上機約三五機ト交戦大和矢矧及駆逐艦四

ヲ喪ヒテ突入作戦ヲ中止シ佐世保ニ取投セリ

一方敵、我YB攻撃ノ虚ニ投シ味方航空部隊ハ敵機動部隊ノ

畫間捕捉攻撃ニ成功ス、三月二十日第二次、十八日第三次航空

總攻撃ノ強行ト相俟テ敵空母、過半撃沈破シ沖繩周辺敵艦

船群ニモ亦甚大ナル損害ヲ與ヘタリ我尚三日第四次航空總攻

島ヲ決行シ残存敵空母群ヲ殲滅ス期シアリ

149

主要戰備工事(豫定)	實地艦
大射機銃從動照準裝置增備	大射機
機銃防彈板裝備	各艦
月型驅逐艦機銃增備	四十一驅
同 四式射擊盤裝備	同
同 電探增備	同
轉輸水平儀	冬月涼月度 再一航
二三彈電探回頭修正裝置裝備	大射部
九三式水中探信儀ヲ三式探信儀ニ換裝	一部
水中聽音機、整頓機增備	一部
三式投射機裝備	各驅逐艇
三式測的盤裝備	大射部
中波方位測定機裝備	大射部

四經過

三月二十七日以後三驅逐隊司令驅逐艦ヲ朝霜ニ變更
 首席參謀、改異ヲ待テ三月二十日完成ヲ目途ニ概テ左戰備工
 事促進方兵工廠ト折衝シ大部二月二十一日二月末日完成ニシ
 二決定第二艦隊司令部了解、下着工

作戰指導

編制區分

艦隊	第一	第二	第三	第四	主要任務
第一艦隊	第一驅逐隊(外月)	第二驅逐隊(外月)	第三驅逐隊(外月)	第四驅逐隊(外月)	內海西部
第二艦隊	第一驅逐隊(外月)	第二驅逐隊(外月)	第三驅逐隊(外月)	第四驅逐隊(外月)	警泊
第三艦隊	第一驅逐隊(外月)	第二驅逐隊(外月)	第三驅逐隊(外月)	第四驅逐隊(外月)	訓練待機

三型探知機(種夜送探)裝備	各	船
一式超短波受話機裝備	各	船
機関各部漏洩防止南放検査	各	船
初霜甲板張替推進器換裝	初	霜

尚五索量少隊艦ハ極力訓練、機會ヲ作爲練度、急速向上ヲ期シ主トシテ大津島ニ於テ對潜訓練(汎汎)並ニ發射訓練ヲ實施スルト共ニ吳在泊期間ヲ利用各種講習ヲ實施ス

三月十七日味方航空部隊四國南方海面ニ敵機動部隊ヲ捕捉シ十八日敵空襲、算大トルヤ在吳可動艦ハ急速柱島ニテ大和ニ合同スル旨、命ニ接シ工事ヲ打切り十八日四上駆逐隊御首霞ハ吳發兵風ハ大津島發大和ニ合同セシム

十九日敵艦上機廣島灣、吳方面ニ來襲、各隊艦所在ニ於テ之ヲ邀撃々退ス

戰果 在吳船艦綜合 擊墜十四機
在廣島灣船艦綜合 擊墜九機

被害 二水戰各艦 ナシ

二十日更ニ警告戒ヒテ敵、來襲ナリニテ敵避退、狀明トナレルヲ以テ四上(冬月)七駆(御首、所段)ヲ吳ニ發、工事ヲ再興濱風ハ大津島ニ於テ三四日各艦聯合靜的發射ニ從事セシム

彼上狀況、變化ニ依リ工事完成期日ハ何レモ二月乃至三月頃延 矢矧工事完了ハ四月五日トナレリ 三月冬月朝霜初霜入渠同日敵機動部隊南西諸島ニ來襲、三音渡良間列島ニ上陸ヲ開始スルヤ「天一孫作戰警戒ヲ下令セラル

水雷戰隊整備 未了ノ狀態タルヲ以テ直ニ第二艦隊司令部ト連絡工事機配虫出準備等ニ關シ質ヒトヨリ現狀、終ト指示接シ工事ヲ続行セルガ翌三月六日「天一孫作戰發動」ハ兵ニ序ニ遊軍部隊

主力は内海に出撃勦部隊ヲ牽制誘引スベキ旨、聯合艦隊命令ニ接シ急遽出撃準備完成ニ入リ刻迄ニ吳淞廣島鷓假泊此間戦備工事ハ矢矧ニ於テハ経緯次第トシテ機銃防弾銀防空指揮所拡張並ニ操艇施設ニ裝備ノ外殆ト得タルトヨク其ノ他ノ艇ニ於テモ急遽出撃トナリ大部裝備ハ終了セルモ配線未了等アリ裝備後、調整ハ各艇共ニ未済

(2) 矢矧戦備工事経緯

矢矧、主要戦備工事ハ機銃從勤照準装置増備(訓令工事)ニニ務ル電波探信儀ノ性能向上、中波方位測定機ノ裝備ニ項ニテ緊急戦備促進ノ方針ニ際スル範圍ニテ概テ三月二十日完了ノ用途トシ實施ニ付トナリ(三月下旬中波主務者打合せ)吳工廠ト打合せ、結果三月十五日迄ニ二號電探裝備替ハ中央方針ニテ了スル理由ニテ

船政本部ヨリ同工事中ニ指令アリ

矢矧ニ二號電探ハ左ノ缺陷アリ

- (a) 探信能力小 駆逐艇ニ比シ約2/3
- (b) 探信確度不安定
- (c) 前方左右三ノ度電探探信死角

(a) 發音大ニシテ艦橋戰斗指揮ヲ妨ガ
水雷戦隊旗艇トシテ戰術指揮上本質的ニ支障ナリト認め電探具申スルト共ニ直接上京實情具申シ決シ居タルガ偶々敵機勦部隊ノ内海方面來襲アリ果シテ再度電報具申シ弟ニ艇隊參謀長ヨリモ具申スルトヨリ聯合艇隊司令部亦電話連絡ノ結果工事施行方取計ニ明確ニ接セルニ遂ニ艦政本部ヨリ整備方針不変ノ指示勸カセ加ヘテ着工期日ノ遅延ト空襲被害艇ノ緊急工事生起ハ豫定期日内ニ工事完成ヲ不能ナラシムルニ至リ仍テ最後安ホシテ

具

艦内工作カヲ最大勤員ニ限リ限度外前除去並ニ騒音影響ヲ減
 少ラ図ルベク呉工廠ト直接折衝工事實施ノ上決定ヒトコロニテ六
 朝ニ至リテ日中盡ク内示アリ遂ニ之ヲモ取止ムルノヤナキニ至リ
 他、戦備モ完成期日ヲ四月五日トシ施エシ居タル為出典時迄ニ
 完成スルニ至ラス各部復旧新ノ間ニ會ヒタル程度ナリ

③永戰司令部、内地取還ガ二月十日ニシテ而モ各隊艦乗員ノ交代亦
 勤カザル實狀ニ於テ速ニ二週、個艦並ニ戰隊綜合訓練ヲ實施シ
 練度、向上ヲ期スルニ要アリタルモ兵器改善ガ數箇月、訓練優劣ト
 信シ殊ニ偵探及對潛攻毒能力、向上ニ必施事項アリト認メ訓練
 期間、短縮ヲ敢テ忍ビ着工之ガ不利ニ事期間、短縮ナリトシ戰備
 促進全幅、努力ヲ傾注セルモ前諸號經過、如ク事初志ト反シ新
 裝兵器ハ全艦發揮ニ至ラズ訓練不足ハ其儘練度、低調トナリ

出島ニ編入ルル中ニ至レリ
 ④廣島灣ニ集合假泊セル第一遊撃部隊主力(天和2000ト3000ト)ハ三月九日ニ至
 假泊地ヲ出島ス前日、列敵艦上機南九州來襲ノ敵情ニ鑑ミ三月九日
 早朝敵襲ヲ豫期天朝機ヲ黎明伊豫灘ニ於テ五三〇發艦徳山
 灣ニ避退セシム

右敵情、肉撃、18ノ摩刺行動延期ナリ18日當日空襲ヲ受ルルコトヲ
 周防灘ニ警備待機スルコトナルガ豫定泊地進入直前響觸雷艦
 隊ハ泊地ヨリ東方ニ移シ佐波島沖ニ就ク響雷ハ朝霜之ヲ或航共ニ向
 ハシメ同艦自力航行可能トナルヤ或航ヨリ上艦隊ニ合隊、響雷ハ三日朝
 吳着修理ニ着手ス、日没後天朝水偵ヲ復取セシム

三月十三日敵空襲ノ虞尚去ス黎明天朝機ヲ避退セシム同夜艦隊
 泊地上空敵大型機數機來襲投彈ナカリシモ内海西部各地ニ機雷

ニ投下セルコト

四月一日朝泊地周辺ニ敵機偵察誘爆アリ尚此ヨリ晨光沖合ニ味方潜水艇觸雷ノ報アリ機雷探掃ヲ要ラ認メ同日午後矢矧機ヲ以テ發射彈(三四號)ヲ投下探掃實施ニ個々音響機雷ヲ處分ス

(四月)敵ハ尤モ被害ヲ蒙ラズニテ沖繩本島ニ上陸型音早クモ北中兩飛行場ヲ占據セルヤノ狀況ヲ謀知シ水上部隊今後用テ就キ深ク檢討シ隊ニ形隊司令官ニ意見具申スルトコロリ(詳細天飛作戦海上特攻隊戦斗詳報参照)爾後敵情者變々且菊水作戦明示セラレ

ルニIBノ用テニ就キ尚觸ル、トゴナカリシヲ以テ未整備ノ戦備残事促

迄ニ為音響探掃ヲ英ニ派シ折衝セシム同日午後IB本島準備トテ令

次テ八月沖繩島泊地ニ突入ノ目途ヲ以テ行動スベキ旨電令ヲ接シ急

速ニ本島準備完成六月一五ニ本島海上特攻隊トシテ行動ス

(詳細天飛作戦海上特攻隊戦斗詳報参照)

四月八日佐佐保着後損傷艇(除涼月)修理ハ當面四月十五日完成ヲ

目途トシ冬月八日曉泊対空戦斗及保安航路哨風初掃ハ全カ發揮ニ

應ジ得ル如ク工廠側ト折衝着手十日ハ派十六日由派ス共ノ後佐保

工廠ト内折衝四月三日各艇戦斗力全能發揮ヲ目途トシ番ヲ再興ス

涼月八五月五日頃完成ヲ目途トシニ應破泊保安差支テ予範固留メ

本修理施工ニ関スル中央ニ照會スルトゴアリシガ今期不施行回答接シ

當初ノ方針ニテ進ムトセリ

之ト茲行戦訓ニ鑑ミ水上部隊今後使用方針ノ速カナル明示ニ関シ

聯合艦隊司令部ニ白入ルト共ニ駆逐艇ノ隱蔽錨地ニ関シ佐鎮及

佐佐保港務部ト折衝一案ヲ得タルモ其實施ハ今後水上部隊使用

方針決定後ニ待ツトセリ

(四月)二十日第永雷戦隊戦時編制ヨリ除カレ三三ノ將旗ヲ撤ス

0090

十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	三	月
											日
島 柱										矢矧	
吳										冬月	
吳										涼月	
柱	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分
柱	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分
柱										雪風	
吳										初霜	
(驅亡迄日十)										霞段	
吳										朝霜	
吳										郷音	
横										潮	

(三) 麾下艦艇ノ行動

十七 驅

二十一 驅

七

驅

五	四	三	二	一	四	三	二	一	四	三	二	一	四	三	二	一	四	三	二	一
灘	防	周																		
上		同																		
上		同																		
上		同																		
上		同																		
上		同																		
上		同																		
上		同																		
上		同																		

横

三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一
吳																				
吳																				
柱																				
吳																				
吳																				
吳																				
吳																				
吳																				
吳																				
吳																				
吳																				

(龜一十=後以日十)

賀 須

157

司令部附	參謀附	鈴木謙三	三月五日 敵進軍捕獲時 三月二十八日 敵機捕獲時
同	通信隊	高瑞光	三月五日 敵進軍捕獲時 三月二十八日 敵機捕獲時
同	航海見張	渡邊正	三月五日 敵進軍捕獲時 三月二十八日 敵機捕獲時
以下士官兵其他員數			
兵種	兵科	工作科	主計科
員數	三九	四	五
合計	四八		
註	三月二十八日 一名退部	三月二十八日 六名入部	
	四月七日 九名戦死	四月八日 一名戦死	四月八日 三名入院
	四月九日 一名入院	四月十四日 三名入部	四月十五日 二名退院
	四月十六日 一名入部	四月十五日 一名入部	

(口) 麾下員數

資料不整不明

157

三月十七日 三月二十日	呉鎮	(X)	呉鎮信電令作第一號 敵機動部隊三月十四日ウルシ島ヲ出 撃北上セル算ナリ 二月十八日以後當分ノ間口五三〇リロ口 迄第一隊警戒配備トセ GP電令作第五六四號 一 諸情報ヲ綜合スルニ敵ノ近ク南西諸島 方面ニ上陸ヲ企図シタル算ナリ 二 敵攻略部隊南西諸島方面ニ未攻セ バ陸軍部隊ト緊密協力GPノ全力 ヲ擧ゲテ之ヲ撃滅南西諸島ヲ確保 セントス	信 號
----------------	----	-----	---	-----

一四 二六日	一四 二六日	一四 二六日	一四 二六日	一四 二六日
25d	25d	25d	25d	25d
二十八日午前中ニ出撃準備ヲ完成スベシ	二十八日午前中ニ出撃準備ヲ完成スベシ	二十八日午前中ニ出撃準備ヲ完成スベシ	二十八日午前中ニ出撃準備ヲ完成スベシ	二十八日午前中ニ出撃準備ヲ完成スベシ
電	電	電	電	電

一七 二六日	一六 二六日	一六 二六日
25d	25d	25d
二十八日午後二時以後對空第一警戒配 備上節即時予節十分間待機トセ 三、吳在泊各艦、對空警戒機関 待機、司令官所定トス。	二十八日午後二時以後對空第一警戒配 備上節即時予節十分間待機トセ 三、吳在泊各艦、對空警戒機関 待機、司令官所定トス。	二十八日午後二時以後對空第一警戒配 備上節即時予節十分間待機トセ 三、吳在泊各艦、對空警戒機関 待機、司令官所定トス。
電	電	電

E1E0	P GF 一九三九 二二八日	P GF 一七三六 二二八日	P GF 二二二九 二二八日
P GF 二二八日	P GF 二二八日	初霜	(E)
11B 信令 第五二號	11B 信令 第五二號	初霜ハ燃料塔載終了次第吳出港艦島南方錨地ニ於テ當隊ニ合同スベシ	本自當艦隊司令部假泊ノ予定錨地ヲ通シ大和佐波島ノ二三八度九六一度内圍占位艦ハ輪形陣ノ儘一斉投錨外圍占位艦ハ軸方位ヲ一八〇度トシ霞口〇櫃口〇一花月口九横三朝霧口〇四〇〇ラ三料トス

P GF 一九三九 二二八日	P GF 二二二九 二二八日	P GF 一六五七 二二八日	P GF 二二八日
11B 外	大和 (天羽花月)	GEBSAF 各P	3/S
11B 信令 第五八三號 (一部欠) 及 11B (一部欠) トス	急速補給ヲ件然ルベク取計ラレ度 (徳山ニテ一部補給) 疾風ノ分ヲ入レ約 (〇〇〇キ) 吳ニ於テ燃料格納所關係上準備セントラ 鹿川岸陸ニ横付補給 (在庫大豆油約四〇〇キ) 11B 信令 第五八三號 (一部欠) トス	11B 八二八日ニ〇〇以後指揮官所定ニ依リ速ニ出撃主力ハ豊後水道ヲ一部ハ下関海峡ヲ通過シ佐佐保ニ前進待機スベシ 二三省略	11B 信令 第五八三號

P 一四 五 月 一 七 日 日 1154	P 一 三 三 四 十 五 日
響 31S 外 1154	8PP GF
第一部隊 P 31S 第二部隊 直率 1154 (檢査) 響音 宣音カノ順 待機部隊軍隊区分左ノ通定ム区分指揮 待機部隊信電令第二號	三十日ニヨロニテ敵情判断 一 敵艦ハ其ノ主力ヲ以テ九州以東ニ行動シ掩護部隊ト協力シテ九州四國方面ニ在ル我基地航空部隊ノ全壊ヲ續行スル算大ナリ 二 敵攻路部隊ノ主力ハ沖繩南東海面ニ待機中ニテ上陸前ノ攻戦準備ヲ完了 一 兩日中ニ上陸開始ノ算極メテ大ナリ
無	電

P 一 三 三 四 十 五 日 2F	P 一 三 三 四 十 五 日 2F	P 一 三 三 四 十 五 日 1YB	P 一 三 三 四 十 五 日 1YB	P 一 三 三 四 十 五 日 1YB
(X)	(X)	(X)	(X)	1YB
朝霜ハ御音ヲ曳航吳ノ向ヘ響音自力航行可能トナラバ艦隊ニ合向セヨ 艦隊ハ明ニ日振島北方海面ヲ行動ヲ予定 大和ノ銚地ヲ佐波島ノ一〇八度四哩ニ改ム 朝霜ハ御音ノ警戒艦トナレ	大和ノ銚地ヲ佐波島ノ一〇八度四哩ニ改ム	朝霜ハ御音ノ警戒艦トナレ	大和ヲ一ニ依ル大和ノ銚地ヲ佐波島ノ一〇八度三九哩ニ改ム各艦ハ浮標情況ニ依リ適宜変更スル事ヲ得	本日機動部隊九州及豊後水道方面未襲ニ鑑ミ予定ノ豊後水道出撃ヲ見合セ周防灘ニ於テ待機ス
號 信	號 信	號 信	號 信	號 信

四	三	二	一	日
柱				在所
五〇〇 北一 東一 三〇 二二 三六	三〇〇 北二 東二 二〇 一五 二二	二〇〇 北三 東三 一〇 〇五 一五	一〇〇 北四 東四 〇〇 〇〇 〇〇	日 月 年 時 分 秒
合				一
聯				第
一				一
經過概要				記事
六〇〇 破風 浪 天 湖 横 付 補 給 九〇〇 破風 浪 天 分 神 向 控 出 港 (船 空 戰 放 線 參 加) 三〇〇 破風 浪 天 分 神 向 控 出 港 (船 空 戰 放 線 參 加)				四 上 艦 隊 隊 長 令 五 日 正 義 大 佐 任

五、作戰經過概要 昭和三年三月 岸東海軍隊司令部

四、參考 十三

四月五日 日一 日一	31S KRB	第三部隊 北上 艦長 北上 波風 第二部隊 八八 島 附近 第一部隊 廣島 灣 附近 二 在リテ 多 人 選 練度 向上 二 努カムベシ 研 電 令 依 第 六 三 七 號 (冬 月 涼 月) 2 初 霜 八 當 分 間 佐 士 保 方 面 三 在リテ 整 備 訓 練 二 從 事 スベシ	電 無
------------------	------------	---	-----

一	二	三	四	五
---	---	---	---	---

北	南	東	西
一	二	三	四
五	六	七	八
九	十	十一	十二

部
隊

八〇〇噸(深風)柱島各島回航 (修理)	一〇〇噸(深風)柱島各島回航 (修理)						
------------------------	------------------------	--	--	--	--	--	--

九	八	七	六	五
---	---	---	---	---

島	島	島	島	島
一〇〇噸	一〇〇噸	一〇〇噸	一〇〇噸	一〇〇噸
北	南	東	西	北
一	二	三	四	五
六	七	八	九	十

隊
擊
遊

一〇〇噸(深風)柱島各島回航 (修理)	一〇〇噸(深風)柱島各島回航 (修理)	一〇〇噸(深風)柱島各島回航 (修理)	一〇〇噸(深風)柱島各島回航 (修理)	一〇〇噸(深風)柱島各島回航 (修理)
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------